



ここにいるから

Vol. 22

発行 2023. 4
発行者 天草漁協

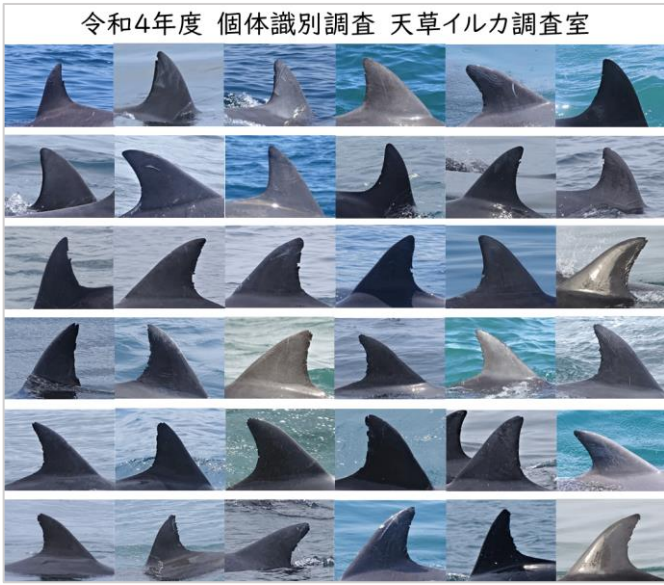
発行 2023. 4
発行者 天草漁協

令和4年度の調査結果

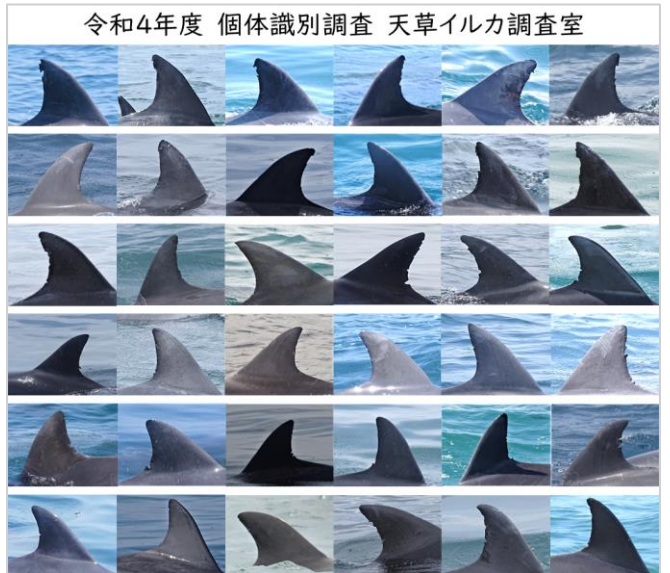
船上調査編

船
上
調
査
編

調査についての情報です。天草では、観光の目玉としてイルカウォッチングが有名です。観光客の皆さんが船に乗って会いに行くのは、ミハマハンドウイルカと呼ばれる種類。有明海の中かで生涯を過ごす「定住型」で、主に通詞島沖から鬼池港周辺に生息しています。(秋は島原方面へ移動することもある) 限られたエリアに生息しているものの、彼らの生息はほとんどわかっていません。しかし、地元の情報や、数少ない過去の研究データなどによると、生息頭数は減少していると考えられています。



令和4年度 個体識別調査 天草イルカ調査室



令和4年度 個体識別調査 天草イルカ調査室

これからの野生のイルカが住み続ける海の環境保全を目的として、実態調査が開始されました。

海況が安定する春〜夏にかけて、背びれの写真を撮り続け、何百枚にも及ぶ写真を整理見分けることにより「個体識別」します。この調査により、イルカの生息頭数がみえていきます。

令和4年度の識別済み個体の総数は130頭という結果となりました。

まだまだ全頭の識別はできていません。中には識別困難なイルカや、新たに生まれたり、死んでしまったりイルカもいます。自然界は止まることなく日々変化していきます。これらの調査を長期的に続けることで、やっと実態を学ぶことができます。調査と並行して環境保全活動や、教育活動に貢献していきます。

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ!

130頭の識別体験

調査ステップ

うらばなしっ!!

- ① 写真を撮る
- ② 無効な写真を省く
- ③ 有効な写真を補正編集する
- ④ 分類する



① 最高に楽しい♪

② 多すぎるデータとポツ写真という現実
に途方に暮れる

③ 目がやられてくる

④ 自分を見失うほど混乱してくる



Amakusa Iruka Lab SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカラボ



amakusa_dolphin



検索